鉛筆デッサンについて

鉛筆の種類

デッサン用の鉛筆は、普通に小学生が使うものよりとても
高価ですが、その分粒子が均一で発色がよいと思われます。

今回使うのはステッドラー製の６H～３Bの１１本です。

鉛筆の硬さと色の濃さ

小学校で使用した経験のある鉛筆の濃さは、きっとH、HB、B、
２Bあたりではないでしょうか。
今回のデッサンでは、それ以外にもっと色の薄いものを中心に使って
描いていきます。
使用する鉛筆で、一番薄いものは６Hです。
最も粒子が細かく、密度が高い綺麗な色がでます。
５H４Hとなるにつれて粒子が粗くどんどん濃い色になっていきます。

…←６H←５H←４H←３H←２H←H←F→HB→B→２B→３B→４B→…

薄い（粒子が細かい）　　中間　　（粒子が粗い）濃い

鉛筆の先は常にとがらせて、できるだけ極端にねかさないように
立てて描くと線や色味が綺麗に出ます。
逆に、ねかせる事でざらつきや色ムラを利用する事もできます。
（慣れないうちは模様のようになってしまう事が多くあります。）

描き始め

描き始めは中間のFより薄い色の鉛筆を使い、できるだけ線の跡が
残らないように力を抜いて、おおまかな当たりを付けます。
描くモチーフに寄って最初に使う鉛筆の濃さを決めるといいでしょう。

モチーフの傾きをよく見て、中心線や補助線を描きつつ輪郭を決定
していきましょう。輪郭がある程度とれたら、全体に鉛筆で色を薄
く塗っていきます。おおまかに色を３段階に分けると立体的に見え
るようになります。

（色の境目はボケている事が多いので具体的な面に分けられませんが変化を見つけて付けていきます）